

# LIBERTY

学園広報誌[リバティ] 九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

vol. 18  
2018 Spring



特集1 九州女子大学・九州女子短期大学、九州共立大学

自ら学び、自ら解決する力 育む  
アクティブラーニング



是自律執行  
福原学園

福原学園

あゆみ

その  
5



九州共立大学の  
第1回新入生のみなさん  
(昭和40年撮影)

## 九州共立大学を昭和40年に開学 経済学部開設に続き、工学部を増設

昭和30年代に迎えた高度経済成長期、北九州市は日本でも指折りの工業地帯へと発展しつつあった。この時代背景のなか、地元からは商業や経済・経営に関わる人材育成の要望が強まり、福原学園もそれに応えるために昭和39年、新たな大学の設置申請を文部省に対しておこなった。

その翌年、認可がおりたのを受けて、九州共立大学を開学。福原軍造理事長が学長に就任し経済学部経済学科を開設した。福原学長は4月におこなった第1回入学式で「自由と誠実に生き、真理を愛し、道理に従い、若くして純真な気持ちを以て大理想のもと将来の大成を目指して進んでいただきたい」と述べ、入学を祝った。

昭和41年には教育の機会均等を図り、働きながら学べる夜間部も開いた。さらに経済の発展に伴い、技術系への進学希望者が増加したことや、北九州の工業界から将来に向けた技術者育成の声も高まり、同年に工学部設置を申請した。

こうして同42年に工学部を開設。また、経済学科に比べてより実学に重きを置いた経営学科を経済学部に増設し、文系・理系にわたり地元の要望に大きく応えた。



上／九州共立大学第一学舎。左手前が正門  
(昭和42年撮影)

下／昭和41年に竣工した工学部校舎

# LIBERTY

学園広報誌[リバティ]  
九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

vol.18 | 2018 Spring

事務局：福原学園 法人事務局 総務部 広報室  
TEL : 093-693-3083  
URL : <http://www.fukuhara-gakuen.jp/>  
発行：学校法人 福原学園  
発刊日：平成30年4月2日

## Contents

創設者 福原軍造の書

02

■特集1

九州女子大学・九州女子短期大学、九州共立大学

## 自ら学び、自ら解決する力 育む アクティブラーニング

- 九州女子大学 家政学部 人間生活学科 地域生活学演習・問題解決型ワークショップ
- 九州女子大学 家政学部 栄養学科 企業・自治体との共同研究事業
- 九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間発達学専攻 合格者による模擬授業
- 九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間基礎学専攻 実践的な実務教育
- 九州女子短期大学 子ども健康学科 キャラバン隊
- 九州女子大学・九州女子短期大学 リーダーズ研修
- 九州共立大学 経済学部 経済・経営学科 日本版CCRCを考えるPBL型授業
- 九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科 企業との連携によるロコモ予防体操を開発

12

■特集2

## 世界に開かれたキャンパス

留学生対談 留学で大きく広がる見識、  
新たに芽生える学びへの意欲

- 九州女子大学 劉詩芸さん × 前田彩佳さん × 森本帆南さん
- 九州共立大学 朱坤奕さん × 沙晨倩さん

16

[あしたに輝く星をめざして]

2017年ビブリオバトル全国大会出場

九州女子大学 家政学部 人間生活学科 3年 秦美波さん

平成29年度 第9回全国ビーチレスリング大会 中量級 優勝／軽量級 2位

九州女子大学 家政学部 人間生活学科 2年 平田菜々子さん 藤澤瑠美さん

平成28年度 北九州インターラッジ優勝

平成27年度 ビーチバレーU21日本代表選出、アジア大会出場

平成28年度 同日本代表選出、世界大会出場

九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科 3年 北川綾哉さん

平成29年度九州学生柔道優勝大会 一部 7位

九州共立大学 経済学部 経済・経営学科 4年 阿部桂大さん

20

[Liberty Topics]

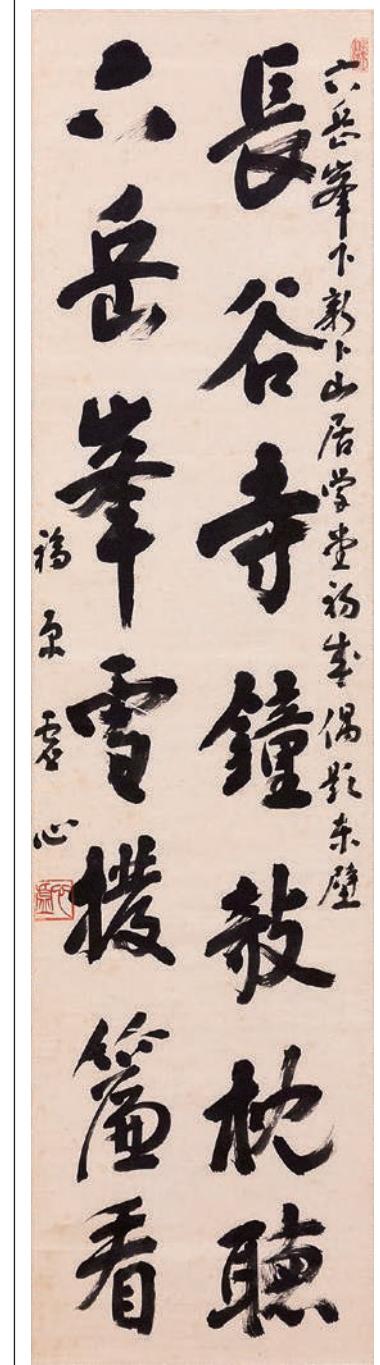
輝く女性をめざす高校生を“九女なでしこ”がご案内～2018オープンキャンパス～／

九州国立博物館の卒業書作展が好評 海外からの観光客も力作を鑑賞／

キャンパスライフを実感! オープンキャンパスに行こう! ／

平成29年度、九州共立大学学長表彰式を開催! 172名の学生と13団体が受賞

【解説】九州女子大学 人間科学部 人間発達学科  
准教授 古木誠彦



【創設者 福原軍造の書】

九州女子大学

九州女子短期大学

# 女性に求められる力 新しい学びで習得めざす



LIBERTY 03 [リバティ]



九州女子大学・九州女子短期大学では社会で活躍する女性に必要とされる「コミュニケーション力」「主体性」「チームワーク」「粘り強さ」などの習得をめざし、積極的にアクティブラーニングを取り入れている。

大学1年次は課題発見・課題解決型学習やディスカッション型のアクティブラーニングを通して、自ら課題を発見するおもしさや仲間との協働による達成感を体感し、学ぶ意欲を高めている。2年次以降は大学で学んだ知識を用い、将来の就業を念頭に置いた実習や地域・企業との提携による研究、まちおかなどを積極的に企画・実行。上級生や卒業生がファシリテーター（調整役・協力者）を担い、学生の疑問や志向に寄り添った支援もおこなっている。今回はその具体例を6つ紹介する。



特集1

九州女子大学・九州女子短期大学、九州共立大学

# 自ら学び、自ら解決する力 育む アクティブ ラーニング

*Active*  
**LEARNING**

Kyushu Women's University  
Kyushu Women's Junior College  
Kyushu Kyoritsu University

急速に社会が変化する現代では、学生には自ら問題を見つけ解決する力が求められる。  
九州女子大学・九州女子短期大学、九州共立大学では  
このような力を育てる学習法としてアクティブラーニングを導入。  
自分に対して自信を持ち人生を切り開く力を育む。

高度な専門知識を与えることに力を置いてきたこれまでの大学教育とは打って変わり、今後は専門知識を駆使し、自ら問題を解決するジェネリックスキル（汎用性の高い能力）を育てることが重要になる。時に他者との協働が必要な場合もあり、人の心を動かすプレゼンテーション力や協調性、最後までやり遂げる責任感も欠かせない。そこで期待されているのがアクティブラーニングだ。これは教員主導の講義形式とは異なり、学生が能動的に参加する学習手法のひとつで、課題解決型学習、グループワーク、グループディスカッションなどが含まれる。



LIBERTY 02 [リバティ]

# 表現力や社会人力も身につける

地域や自治体と協働し問題点を発見  
意見を集約し解決策を模索

九州女子大学  
家政学部 人間生活学科

地域生活学演習・  
問題解決型  
ワークショップ

## アクティブラーニング



### Voice!

九州女子大学 家政学部 人間生活学科 2年  
**安永 鈴菜さん**  
(福岡県 東海大学付属  
福岡高等学校出身)

木村 美帆さん  
(山口県立下松  
高等学校出身)

ワークショップに参加した安永さんと木村さん。ふだんあまり考えることのないテーマをみんなで結論に向けてじっくり話し合う体験は新鮮だったと安永さん。木村さんは、同じテーマでも人によって意見や考えが違うことを実感した。

**九** 州女子大学 家政学部 人間生活学科では、衣、食、住に関する幅広い学びを生かし、学生が地域や自治体と関わりながら問題点を発見し、まちおこしなどの解決策を模索。実行に移すまでの演習をおこなっている。これまで地域イベントへの参画や特産品開発などに取り組み、高い評価を受けてきた。

とはいって、学生は自ら問題点を見つけ出す経験が足りず、自発的に動くことが苦手な学生も多い。そこでは1年生を対象にワーキングショップを開き、解決手法を学習する。昨年の12月におこなった1泊2日のワークショップでは、「北九州で若者が考える『キャリアスタイルプラン』」をテーマに、与えられた資料を読み込んで問題点を見出し、チームごとにパワーポイントにまとめて発表した。思いのほかたくさん集まった意見をまとめるのは難しかったようだが、限られた時間のなかでいかに発表資料を完成させるかを考え役割を分担する姿

九州で若者が考える「キャリアスタイルプラン」をテーマに、与えられた資料を読み込んで問題点を見出し、チームごとにパワーポイントにまとめて発表した。思いのほかたくさん集まった意見をまとめるのは難しかったようだが、限られた時間のなかでいかに発表資料を完成させるかを考え役割を分担する姿

になると、学生は選択したテーマごとに課題を見つけ、実際に地域に入っていく。このワークショップをきっかけに客観的に問題を分析し、自分の思いを伝える表現力を高めることをめざす。また、相手への気配り、報告・連絡の徹底など、社会人として必要な力を身につけることも期待されている。

こうした体験を経て2年生以降に、も見られ、全員が無事に発表することができた。

特集1  
自ら学び、  
自ら解決する力 育む

九州女子大学  
家政学部 栄養学科

### 企業・自治体との 共同研究事業

## 実践力と人間性を鍛える

実社会から求められる同じ条件で  
レベルの高い課題に取り組み、



〔実践力を鍛える実習〕①②臨床栄養アセスメント論実習の様子。③給食管理実習では最新の大量調理器具を使って現場に即した実習がおこなわれる。  
〔地域に根ざした実践教育〕④芦屋町のイベント・さわらサミットでは「さわら巻き」を出店した。⑤水巻町合同災害食レシピの実践講習会。  
〔企業との共同研究事業〕⑥マルハニチロ株式会社と共に開発した「DASH弁当」。⑦⑧⑨株式会社三和化学研究所と共同研究した固形化補助食品「カタメリン」と調理例。⑩カタメリンを使った調理実習例。

一方、マルハニチロと共同開発した減塩食弁当 DASH弁当の企画ではおいしさや栄養面だけでなく徹底したコスト管理を求められ、より価格が低い食材を探すなど社会貢献で働く教員も学んだ。こうした商品開発では企画段階から学生を参画させており、学生らしいしなやかな発想が開発に弾みをつけていた。

授業では最新設備を使った実践力を高めるため、集団給食や臨床栄養などの実習に力を入れている。昨年から産業医科大学に協力を仰ぎ、3年生を対象に解剖実習の見学をおこなっている。解剖学は栄養学科の学生全員が取得をめざす管理栄養士国家試験にも出題され、病院のチーム医療に加わる管理栄養士にとって欠かせない素養となる。

株式会社三和化学研究所との共同研究では臨床栄養学実習で学んだ知識を生かし、飲み込む力が弱い方々のためにソフトで形がある食事を提供する固体化補助食品「カタメリン」を開発した。臨床現場で応用され、実習や卒論でレシピ開発を進めている。

### 企業との共同研究

株式会社三和化学研究所との共同研究では臨床栄養学実習で学んだ知識を生かし、飲み込む力が弱い方々のためにソフトで形がある食事を提供する固体化補助食品「カタメリン」を開発した。臨床現場で応用され、実習や卒論でレシピ開発を進めている。

### 食

のスペシャリストとして活躍する人材を育てる九州女子

大学家政学部栄養学科では、企業や自治体と提携して研究や商品の共同開発をおこない、現場に求められる実践力を鍛え、高い専門性と人間力も育んでいる。

授業では最新設備を使った実践力を高めるため、集団給食や臨床栄養などの実習に力を入れている。

昨年から産業医科大学に協力を仰ぎ、3年生を対象に解剖実習の見学をおこなっている。解剖学は栄養学科の学生全員が取得をめざす管

理栄養士国家試験にも出題され、病院のチーム医療に加わる管理栄養士にとって欠かせない素養となる。

### 地域生活学演習

平成27年度より始めたカリキュラムで、大学と自治体が連携し、学生が主体となって地域や自治体と協働。さまざまな活動をおこなっている。

# 実践的な 実務教育

大学図書館を教材として  
活用した実践的な学び  
自ら動き、  
切り開く力を



## 自ら学び、 自ら解決する力 育む

下で学習を体験する必要がある。そこで、学内の図書館を使い、実際の利用者を想定した展示をおこなつたり、レファレンスサービス（質問応対）にあたり、そのなかで学生一人ひとりが課題を考え解決していく実務的な演習をおこなつていい。また、現場の危機管理を体験させるため、図書館員が実際に使っている目録データベースに触れ、入力ミスをするとほかの図書館にいかに迷惑をかけるなどを学ばせる。

図 書館司書課程では知識を習得するための講義型授業も

# アクティブラーニング

九州女子大学  
間科学部 人間発達学科  
人間発達学専攻

## 合格者による 模擬授業

高い合格率の秘訣は、  
学生と教員が一丸となつた

# 独自の教員採用 試験対策

九 州女子大学では小学校教員・特別支援学校教員採用試験の合格者数が高水準で推移している。その原動力は実践力を重視した学びと、学生と教員が一丸となつた独自の教員採用試験対策にある。

その二つが、3年生の春休み前におこなわれる教員採用対策春季特別講座だ。これは数か月後に迫った採用試験に備え、志望自治体を決めて本格的な学習に取り組む意思を固めさせる狙いがある。教員

## 教員採用対策 春季特別講座

講座は5日間にわたり、各日ごとに北九州市、福岡県と福岡市、福岡県以外の自治体別に受験対策を伝え、合格者による模擬授業のはか、集団討論のビデオ上映や集団面接での体験談発表、各自治体の試験傾向に従ったアドバイスを実施。担当教員が心構えも伝える。

力として顧客満足度などを分析する手法も学習。分析結果を発表したり、広報能力として必要なチラシ作り等もおこない、学生同士で評価し合うことで表現力を高め合い、能力向上を図っている。

ここに至るまで、学生には基礎的知識の理解が求められるが、実務演習のなかで学生は不足している能力を自覚し、さらに学びを深め成長する姿が見られる。

実務演習の最大の目的は、実際に図書館へ足を運び、そこで必要

とされるさまざまな能力を感じ取り、状況に合わせて身につけることである。学生はその力を育むため日々、熱心に学んでいる。

# 図書館ボランティア

北九州市内および近郊の市・町の図書館と提携し、希望する学生を派遣。毎年20名前後の学生が図書館へ出向きボランティアとして実務をおこなっている。学生には1年生から4年生まで継続してボランティア活動を続けることをすすめ、図書館側にも学習度に合わせて仕事の難易度をあげてもらい、より多くの状況・場面を体験できるようにしている。

Voice!

九州女子大学 人間科学部  
人間発達学科 人間基礎学専攻4年  
**吉田 有華**さん  
(北九州市立常盤中等学校出身)

利用者に対してだけではなく、職員同士でも  
気遣いできる図書館司書の姿を見て、自分に  
足りない対人能力を自覚しました。図書館ボラ  
ンティアに参加したことでの力が高められ  
たと思っています。

採用試験は筆記試験と適性を評価する試験に分かれており、自治体によって試験内容や傾向が異なる。そこで自治体別に対策を練る必要があるのだ。

講座では前年の教員採用試験に合格した4年生により、採用自治体別の特徴を活かした模擬授業をおこない、志望地選びに迷う3年生に重要な指針を示す。3年生は4年生の声の出し方や発問の仕方、間の取り方など細かな部分まで見逃すまいと真剣だ。また、希望者を募り模擬授業も試みるが、未熟なところも多いため終了後は教員から問題点や改善点を指摘し、今後の学びにつなげている。これらを通して3年生はめざす自治体がより具体的になり、学ぶ姿勢がこれまでに増して積極的になる。

4月以降は受験する自治体ごとにグループを編成。特訓やセミナーをおこなうが、学生たちも自主的

クを活かしながら互いにモチベーションを上げて受験に向かう。また、卒業生が受験勉強をアドバイスするなど学生に刺激を与える場も設け、さらに士気を高めている。





①ロールプレイングでのストーリーづくりやパソコンを使った発表資料づくりは深夜まで及んだ。②演劇の専門家を招き、自然な演技や声の出し方、堂々とした話し方を繰り返し指導してもらった。③リーダーたちに熱い激励の言葉を贈る福原公子学長。④学生たちは、ストーリーに合わせて新入生や先輩、先生などに扮し、思わず見入ってしまうようなロールプレイングを展開した。



九州女子大学・  
九州女子  
短期大学

### リーダーズ 研修

## 卒業後の活躍も視野に 学生主体の大学づくりのため 学生のリーダーとなる人材を育成

**R**リーダーズ研修では、学生士の交流やサークル運営などをおこなう学生自治の中心組織「学友会」のリーダーが集まり、九州女子大学・九州女子短期大学の学生であることの自覚を強く持たせ、学ぶ環境をよりよくするために取り組みを考える。また、時代の要請に対応できるリーダーの育成もめざしている。

今年2月におこなった1泊2日の研修では、「新入生のオリエンテーションで学生リーダーが伝えたいくこと」というテーマで話し合い、ロールプレイング形式で発表した。

1日目は新入生だった頃に先輩に伝えて欲しかったこと、先輩として新入生に伝えたいことをそれぞれピックアップ。グループごとに新入生に伝わりやすいストーリーを作り、パワーポイントを使った資料作りをおこなった。2日目は演劇の専門家を招き、ロールプレイングでの演技や声の出しが方などを学び、新入生に興味を持つてもらえる表現を模索した。

それらの成果発表では、新入生

### リーダーズ研修

学生主体の組織である総務委員会、体育委員会、文化委員会、大学祭実行委員会の新・旧委員会が一堂に会し、よりよい大学にするためにさまざまなテーマで話し合い、リーダーとしての自覚と責任を確認し合う。大学はリーダーの育成を図ることでも社会に貢献できる人材の輩出をめざしている。

## アクティブラーニング



九州女子  
短期大学  
子ども健康学科

### キャラバン隊

## かけがえのない学びの場 専門性と人間性の両面を鍛える

九

州女子短期大学 子ども健康

学科では、保育士や幼稚園教諭、養護教諭をめざす学生が意欲的に学んでいるが、保育の世界からは即戦力が求められ、教室での学びだけでは不十分なところがある。また、資格取得のため保育士・幼稚園教諭志望者・養護教諭志望者は、決められた期間の実習が必要になるが、長期間の実習や現場のハードさについていけないなど、教室と現実のギャップに戸惑う学生も多い。

保育の現場では子どもの要求に臨機応変に対応する力、思い通りにいかなくても我慢する自制心、現場の職員や保護者とのコミュニケーション力など、笑顔で働き続ける体力が求められる。また、保護者や子どもが安心して保育を委ねられる高い人間性も必要で、これらをバランスよく鍛えるには、できるだけ多くの現場に行く機会を持つことが鍵になる。

そこで、学生が主体となり、幼稚園や保育所、学校などに出向いて模擬保育や模擬授業をおこなう

組織「キャラバン隊」を結成。1年生は全員が日頃の授業で学んだことを現場で実践している。模擬保育の内容は教員のアドバイスを受けて準備。仲間と協力し合うことで協調性も育つようだ。時には現場で失敗することもあるが、そこから立て直す体験も成長に欠かせない。

何よりも子どもたちとの触れ合いはモチベーションを上げてくれ、保育の世界をめざす意識をさらに強固なものにしてくれる。

### 九州女子短期大学 子ども健康学科 キャラバン隊

平成24年に結成。希望者はさらに「スーパーキャラバン隊」としてチームを組み、地域イベントや高校生を対象とした出前授業などで幅広い活動をしている。

# アクティブラーニング

## 学習意欲や問題発見力、 学外からの刺激で高める

九州共立  
大学

九州共立大学では授業に問題解決ワークショップやPBL型授業（問題解決型授業）を取り入れ、学生の学ぶ意欲と問題発見力を高めている。昨年、スポーツ学部では企業との連携事業に学生が参加。経済学部では銀行から講師を招きPBL型授業をおこなった。学生にとってこうした体験は大学での学びが社会でどのように役立つか深く掘り下げるきっかけとなった。また、グループワークではさまざまな意見が飛び出し、考えの幅が広がった学生も多い。

一方、学外に出て現場の声を聞くことは教室内での考え方のギャップを知ることにつながっている。資料や授業だけではなく、学生の学習意欲を大いに刺激するようだ。具体例を2つ紹介する。



九州共立大学  
スポーツ学部  
スポーツ学科  
企業との連携による  
ロコモ予防体操を開発

本番の撮影は福岡市内の  
撮影スタジオを借り切っておこなった。

①今回の産学連携の経緯を話す九州共立大学スポーツ学部の樋口行人教授。高齢社会が進むなか、スポーツを通していかに健康寿命を伸ばすかを研究している。②動画制作には動きの練習も含め、5か月ほどかかったが、学生は充実した時間を過ごした。③前列(左)よりスポーツ学部4年の上野未来さん、監修者の藤崎道子先生、スポーツ学部4年の中川智尋さん。



### 企業との連携による ロコモ予防体操の開発

ロコモとは、ロコモティブシンドロームの略称で、骨や関節、筋肉などの機能の衰えが原因で、「立つ」「歩く」などの日常生活に障害をきたしている状態。樋口行人教授と藤崎道子講師の監修で3分程度の体操を5セット紹介。完成した動画は九州内の日本調剤36店舗で使用されている。

学生は体操の実演者として動画に出演したが、動きの見やすさや美しく見える姿勢などを撮影で高度な仕事ぶりを見せるプロの姿に触れ、学内では味わえない現場体験ができた。高齢社会で運動が果たす役割や仕事をの厳しさを認識し、卒業後は「健康」に関わる仕事に就くという意思を明確にできたことは意義深い。

### 動画に学生も出演 運動で足腰の健康をサポート ロコモ予防体操を開発

九

九州共立大学スポーツ学部  
スポーツ学科の樋口行人教授  
は、全国に調剤薬局を開設する日本調剤株式会社と連携し、「積極的に運動しない高齢者をいかに運動に取り込むか」という課題に取り組んでいる。昨年は『患者が薬

局の待ち時間を利用してできる体操』を藤崎道子講師が考案し、プログラム構築過程に学生もワークショップとして参加。久留米市や福岡市の薬局で「ロコモ予防体操イベント」として披露した。これが好評で、薬局店舗のモニターで流せるようになると動画制作することが決定。完成度の高いものに仕上がった。

学生は体操の実演者として動画に出演したが、動きの見やすさや美しく見える姿勢などを撮影で高度な仕事ぶりを見せるプロの姿に触れ、学内では味わえない現場体験ができた。高齢社会で運動が果たす役割や仕事をの厳しさを認識し、卒業後は「健康」に関わる仕事に就くという意思を明確にできたことは意義深い。

①今回の取り組みは3名1組のグループワークでおこない、活発な意見交換を経て、三井住友銀行の方々にプレゼンテーションし、レポートにまとめた。②今回のPBL型授業を指導した九州共立大学経済学部経済・経営学科の野田崎融講師と大和裕美子講師。右が岩男健太さん。  
③「つくしの杜陣原」では職員の方に仕事内容や設備、やりがいなどを伺った。④「クレアール黒崎」では利用者にインタビュー。元気な高齢者の姿に触れ、若者と高齢者がもっと交流している事例がないかという疑問がわき、桜美林大学の事例調査につながった。



九州共立大学  
経済学部  
経済・経営学科 4年  
岩男 健太さん  
(大分東明  
高等学校出身)

見学した2つの施設では、経営形態がそれぞれ株式会社と社会福祉法人であることに着目し、経営形態と施設のサービス内容に違いがあるのかなどをインタビューしました。

### 日本版CCRCを考えるPBL型授業

CCRCとは「継続的なケア付き高齢者の共同体」という意味で、アメリカで生まれた概念。三井住友銀行のPBL型授業では、銀行がなぜ高齢者向け住宅を手がけるのか、日本のサービス付き高齢者向け住宅について話を伺った。サービス付高齢者向け住宅見学では、北九州市内の「つくしの杜陣原」と「クレアール黒崎」を訪ねた。



九州共立大学  
経済学部 経済・経営学科  
日本版  
CCRCを考える  
PBL型授業

LIBERTY [リバティ]

LIBERTY [リバティ]

知りたいという気持ちが  
新たな調査に

現場の声を聞き、問題点を発見

ネットや本ではわからない

にまとめた。

今回の授業で学生は、本やネットでの調査では限界があり現場の声を聞くことの重要さを痛感し、自ら動くことの大切さを学んだ。受講した岩男健太さんは国内の事例を調べるうちに桜美林大学と連携したCCRCを知り、現在、他の高齢者向け住宅を訪問。高齢社会では若者に何が求められているかを職員や利用者にインタビューした。その結果を三井住友銀行の方々

に、プレゼンテーションし、レポートにて発表するつもりだ。自ら発見した問題がさらなる興味を引き出し、学生の学ぶ意欲を高める貴重な機会となったようだ。

## 留学生対談

留学で大きく  
広がる見識、  
新たに芽生える  
学びへの意欲

▶九州女子大学

▶九州共立大学

社会のグローバル化が進むなか、広い見識を求め、海外留学を選択する学生が増えている。九州女子大学、九州共立大学では世界中から留学生を受け入れる一方、意欲のある学生の留学を後押ししている。本学で学ぶ留学生や海外留学を体験した学生に、留学で学んだことや気づきを語ってもらった。

# 見知らぬ国へ飛び込む 気持ち 海外へ羽ばたく夢を実現

九州女子  
大学中国文化体験  
プログラム九州女子大学 家政学部 栄養学科 4年  
(鹿児島県立武岡台高等学校 出身)**前田 彩佳さん**

平成29年9月、中国文化体験プログラムに参加。この体験を通して海外への興味がますます高まった。

九州女子大学 人間科学部  
人間発達学科 人間基礎学専攻 4年**劉 詩芸さん**

平成28年、中国・中華女子学院から九州女子大学へ1年間短期留学。その後、九州女子大学人間発達学科人間基礎学専攻3年次に編入学し、さらに学びを深めている。

九州女子大学 家政学部 栄養学科 4年  
(宮崎県立宮崎大宮高等学校 出身)**森本 帆南さん**

海外の学生との交流活動をきっかけに留学に興味を持つ。平成29年9月、中国文化体験プログラムに参加。

**強い好奇心が後押し  
強い好奇心が後押し**

劉 九州女子大学に留学する前は、中華女子学院で女性学を学んでいました。女性学とは社会のなかで女性の置かれた立場や問題を身近な事例から発見していく学問でとても学びは充実していましたが、その方でもっと視野を広げたい、新たな世界にチャレンジしたいという気持ちがありました。

そんな時、協定校の九州女子大学の短期留学のことを知り、持ち前の好奇心が抑えきれなくなりました。日本語はまったくわかりませんでしたが、日本がどんな国なのかこの目で見てみたいと思ったのです。そして1年間、日本語と日本文化を学びましたが、もつと日本で学びたいという思いが高まり、人間科学部人間発達学科人間基礎学専攻に編入学しました。私たちも留学のきっかけは劉さんと同じ好奇心ですね。私たちは平成29年9月、中国の上海海洋大学で1週間の中国文化体験プログラムに參加しました。私は以前から海外の学生と交流活動をしており、自分の知らない世界をもっと知りたいと思っていました。留学に憧れていますが、費用や勉強との調整がつかず諦めかけていたところ、中国文化体験プログラムのことを知り、「これだ!」と思つて参加しました。

森本 わずか1週間でしたが、中国の大学生と同じように寮で暮らし、その雰囲気や日本の大学との違いを実感できます。私は以前から海外の学生と一緒に授業が中心で、与えられた専門分野を追究するのみといったスタイルです。ところが、人間基礎学専攻の図書館・情報コースでは自ら知りたいテーマを見つけて調べたり、違う分野を研究している学生とディスカッションしたりして見識を深めるなど、能動的に学ぶことを求められます。興味を覚えたものから学びが広がるので、とてもエキサイティングです。

**森本 私たち**

日本語を学ぶ学生が多く、とても流暢な日本語で熱心に話しかけてくれました。中国の大学と日本の大学では先生の教え方や学生の学び方などに違います

## 留学生対談

留学で大きく  
広がる見識、  
新たに芽生える  
学びへの意欲

九州女子大学

九州共立大学



就職活動の一環として  
インターンシップに参加。



ホストファミリーと一緒に  
行った旅行は思い出に。



楽しいひと時を  
過ごした  
クリスマス  
パーティ。

# 日本企業に就職が内定 広がった視野と友情の輪



朱 珍奕さん

上海海洋大学日本語学科から平成28年3月、九州共立大学経済学部経済・経営学科に留学。日本国内のビジネスホテルチェーンに就職が内定。

沙 晨倩さん

上海工商外国语商業学院日本語学科から平成28年3月、九州共立大学経済学部経済・経営学科に留学。この春から日本国内の物流会社で働く予定。

朱 一番大変だったのは就職活動です。留学生だから難しいかなと思いましたが、キャリア支援課の職員の方がとても親身になつてくださり、いろいろアドバイスをいただきました。

沙 特に面接の練習は役に立ちましたね。日本独特のお辞儀や、敬語の使い方も指導していただいたので、入社試験の面接で迷うことはありませんでした。おかげで希望する日本企業に内定をもらえて目標を達成でき、満足しています。

朱 内定先のビジネスホテルチーンは社員の方のやる気が感じられ、女性もたくさん活躍しているのでやりがいがあります。これからは日本のおもてなしを学び、将来はその良さを世界に広げたいと思います。

沙 私は以前から興味があった物流関係の会社に内定しました。日本の物流システムは先進的で、どんな仕事を任されるか今から楽しみです。日本企業の良さを吸収し、将来は中国の企業に入つて日本で学んだことを伝えたいと思います。

沙 私も友達がたくさんでき、おかげで楽しい経験ができました。アルバイトも経験し、飲み会やコンサートにも行きましたよ。

朱 苦手な面接も克服

朱 日本のことをもっと知りたいという思いで留学しましたが、とても充実しました。大学の先生や職員の方、ボランティアの方など、支えてくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

朱 一人暮らしをして独立心がついたし、問題が起つても自分で解決する精神力を養うことができました。私たちのほかにも韓国やベトナムなどから留学生が学んでいて、悩みがある時も留学生同士で気持ちを共有できたのは心強かったです。留学はお金もかかるし難しそうだけど、学びたいという強い気持ちがあれば、きっとたくさんのことを吸収できると思います。

## かけがえのない出会い 意欲あれば可能性大

沙 日本のことをもっと知りたいという思いで留学しましたが、とても充実しました。大学の先生や職員の方、ボランティアの方など、支えてくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

朱 一人暮らしをして独立心がついたし、問題が起つても自分で解決する精神力を養うことができました。私たちのほかにも韓国やベトナムなどから留学生が学んでいて、悩みがある時も留学生同士で気持ちを共有できたのは心強かったです。留学はお金もかかるし難しそうだけど、学びたいという強い気持ちがあれば、きっとたくさんのことを吸収できると思います。



思つて留学を決めました。アパートを借りて一人暮らしをしていますが、アパートは九州共立大学が斡旋してくれたのでスムーズに生活を始められました。手続きなどでわからないことは職員の方や友人がサポートしてくれるのに困ることはありませんでしたね。

朱 私は国際交流・留学生支援室から留学生向けのホストファミリーを紹介していただき、週末はその家庭にホームステイしたり、パーティや旅行に誘っていたり楽しく過ごすことができました。おかげで日本の一般家庭の様子や現代の文化・流行がすごく実感でき、日本の生活にも早く慣れることができたと思います。



沙 日本語での講義の聞き取りは大変ですが、先生も個性的でいいのに教えてくれます。先生の研究室に行って直接質問できる時間もあるので、わからないところはカバーできました。

朱 私は日本企業の経営の事例やビジネス用語など、幅広く学びました。中国では学生は先生の講義を聞く一方で授業がほとんどでしたが、九州共立大学では学生が学んだことからさらに興味がある対象を掘り下げ、学生同士でディスカッションしたり発表したりする授業が多いですね。この学び方だと興味があることを深く学べ、自分の知識として身につくのですごく手応えを感じました。それに、学生同士で話し合うことも多いので、友達がいました。



# 「続けたい」という強い気持ち、大学公認の同好会設立につながる

## あしたに輝く 星をめざして いま活躍が注目される学生たち

ピーディな動きや勝ち負けがはっきりしていることがレスリングの魅力という藤澤瑠美さんと平田菜々子さん。中学時代、北九州市内のレスリング道場で出会い意気投合。進学した高校は違ったが学校のレスリング部で練習に打ち込んできた。そして平成29年春、九州女子大学家政学部人間生活学科で同期生として再会。藤澤さんは家庭科教員をめざし、平田さんは食への興味を生かし自分の夢に向かって勉強する傍ら、レスリングを続けてきた。

個人資格で大会出場を目標に週2~3回、母校のレスリング道場を借りての自主練習。基本的に練習は一人のため、「自分の弱点が客観的にわからなくなり、行き詰まることもありました」と藤澤さんは振り返る。それを持ち前の粘り強さで跳ね返し、全国ビーチ

レスリング大会や全国女子オープンレスリング大会で優秀な成績を収めることができた。平田さんは「大会に出ると充実感があります。このスポーツが好きだと改めて思いました」とレスリング愛を話す。

うれしいことに今年の5月には、レスリング同好会の発足が認められる予定。「個人での活動は、大会の出場許可の申請手続きや練習場の確保など、練習以外の苦労があ

ります。そんな私たちを見守っていただいている先生方や職員の方が後押ししてください、九州共立大学のレスリング場を借りて練習できるようになりました」と二人。「一対一で戦うレスリングは技や動きのスピードで個性を出せる競技。これまで勝負にこだわっていましたが、同好会ではおもしろさを伝えたい」と、ともに楽しむ仲間を大募集中だ。

九州女子大学 家政学部  
人間生活学科 2年  
(福岡県 自由ヶ丘高等学校出身)

**平田 菜々子さん**

九州女子大学 家政学部  
人間生活学科 2年  
(福岡県立小倉商業高等学校出身)

**藤澤 瑠美さん**

平成29年度  
第9回  
全国ビーチレスリング大会  
**中量級 優勝**  
(平田 菜々子さん)  
**軽量級 2位**  
(藤澤 瑠美さん)

九州女子大学、九州共立大学には  
スポーツや文化面で著しい活躍を見せる  
学生たちがたくさんいる。  
そのなかでもきらりと光る成績を残し、  
あしたに向かってさらに輝こうとしている  
学生たちを紹介する。

## 本の魅力をいかに伝えるか 言葉を武器に知的書評合戦

ブリオバトルとは、発表者(ビブリオバトラー)が気に入った本を言葉を駆使して紹介し、大会参加者が読みたいと思った本を投票してチャンプ本を決める書評合戦だ。九州女子大学人間生活学科2年生は、4年前から全国大学ビブリオバトルに参加しており、今回は秦美波さんが大学の代表として九州地区決戦で見事優勝し、初めて全国大会への出場を果たした。

選んだ本『ヴァニティ』は恋愛や結婚、女性同士の友情や確執をテーマにした直木賞作家・唯川恵さんの短編集だ。読んでみるとストーリー展開がおもしろく、その魅力を伝えたいという気持ちが強まった。「発表時間は5分。あえて原稿を起こさず、全体の構成だけを考えて参加者の反応を見ながら話を進めることにしました」。何度も本を読み直し、友人の前で発表しては、冒頭で相手をひきつける「つかみ」や、書評を盛り上げる山

場を工夫。過去の大会の動画を何度もチェックするなどした。その甲斐あって、九州地区決戦では見事チャンプ本(優勝)に選ばれ、全国大学ビブリオバトルに出場を果たした。

昨年の12月、東京でおこなわれた決戦には福岡からも同級生が応援に駆けつけてくれたが、「ほかのバトラーの発表がすごくレベルが高く、それを聞いているうちに緊張してしまい、制限時間を1分も余らせてしまう大失敗を犯していました」。結果は惜しくも準決勝で敗退となったが、この経験は大きな自信となった。「実はふだん、あまり本を読まなかったのですが、ビブリオバトルに参加したことで、読書のおもしろさを知ったばかりか、自分の気持ちを人に伝えることができるようになりました。質問力もついたと思います」と振り返る。これからも挑戦することを忘れず、自分の可能性を探りたいと意欲満々だ。

九州女子大学 家政学部 人間生活学科 3年  
(福岡県立稻築志耕館高等学校出身)

**秦 美波さん**

■成績 2017年ビブリオバトル九州地区  
決戦優勝  
2017年全国大学ビブリオバトル  
出場

2017年  
ビブリオバトル  
全国大会  
出場



- 「できるだけ読みやすく、内容に共感できそうな本を選びました」と秦さん。ビブリオバトル参加をきっかけに読書に魅了され世界が広がったという。将来は家庭科教員をめざして勉強中。
- 発表では派手な話し方などせず、自分らしい自然なスタイルで本の世界を伝えた。
- 全国大会は東京・大手町のよみうり大手町ホールで開かれ、各地区の予選を勝ち抜いた36名の学生によってバトルが繰り広げられた。
- 全国大会出場の切符となった九州地区大会優勝の賞状と「チャンプ本」。
- 平成29年11月、九州女子大学耕学館でおこなわれた九州地区大会。



## 柔道を通して得た広い心 めざすは全国大会、そして公認指導者

世

界的に普及し、オリンピック競技種目のなかでも注目度が高い柔道。そのおもしろさを「一対一で勝負に集中できるところ」と九州共立大学男子柔道部キャプテン、阿部桂大さんは話す。中学生から柔道を始め、恵まれた体格を生かした力技を持ち味だが、「昨年の九州リーグでは団体戦で6位と不本意な結果に終わりました。勝つためにはパワー以外にスピードと技、それに相手との距離感をいかに取るかなど、さまざまな要素が必要だと実感しています」と悔しさを感じさせる。

稽古は部員たちが自主的に練習メニューを組んでおこなう。立ち稽古のほか、不足しているパワーを補うための筋力トレーニングは毎日欠かさない。「すぐに強くなる秘訣はな

いと思います。地道な稽古をコツコツ積み重ねていくだけです」

厳しいイメージがある柔道だが、部の雰囲気は和やかで部員同士の仲もいい。しかしケガや体調不良に悩む部員もあり、全員のモチベーションを保つのに苦労することもあるという。「以前は下級生に自分の考えが伝わらず、イライラした時もありました。しかし最近はそんな思いをすることなく、心が広くなつたと感じています」。柔道では相手の動きを予測し、技や距離感を考えるが、人と接するときも相手の気持ちを推し量り、言葉のかけたや行動を考えるようになったからだ。

自分を高めてくれたそんな柔道の魅力を多くの人に伝えたいと思い、将来は指導者も視野に入れて公認スポーツ指導者資格取得をめざし勉強中だ。今はさらに稽古を重ね、九州学生柔道体重別選手権大会優勝、そして全国大会出場へ向けて意欲を燃やしている。

九州共立大学 経済学部 経済・経営学科 4年  
(宮崎県立延岡工業高等学校出身)

阿部 桂大さん



平成29年度  
九州学生柔道  
優勝大会  
一部 7位

1. 男子柔道部は昭和42年創部。50年以上の歴史を持つ。現在、16名の部員が在籍し、清水克巳監督の指導のもと、自主自律的な稽古をおこなっている。
2. 中学1年生の時、担任の先生にすすめられて始めた柔道にひきつけられ、高校は柔道の強豪校に進学。九州共立大学では持ち前のパワーにさらに磨きをかけている。部員たちには人あたりのよい性格と真面目さから慕われおり、部のまとめる役となっている。
3. 練習時間は基本的に毎日2時間。時間を無駄にせず、スピード感あふれる稽古で集中力を高める。
4. 世界的に人気がある柔道。柔道はルール変更が多く、それに合わせて稽古内容を見直すなどの苦労もあるとい。
5. 清水克巳監督（九州共立大学 教務課課長）／昭和55年九州共立大学卒業後、九州共立大学職員として勤務する傍ら九州共立大学男子柔道部コーチとして部員を指導。平成6年、監督に就任。ケガのない柔道を心がけ、組手ひとつで状況が変わる柔道のおもしろさを伝える一方、礼儀を大切にし、学業との両立も厳しく指導する。柔道5段。



## 「考えるバレー」で急成長中 大学リーグ優勝へ向け練習の日々

九

州の大学バレーボールリーグで、目覚ましい成長を見せている九州共立大学男子バレーボール部。そのチームで、別名スーパーイースとも呼ばれるポジション・オポジットを任せているのが北川綾哉さんだ。チームのなかでもひとわざ目立つ189cmの長身、抜群の跳躍力と身のこなしで、バックアタックを次々決める。ところが、「今までこそ1部リーグで戦えていますが、以前は低迷していました」と聞いています」という。

チームが変わったのは平成26年の宮本守監督（当時はコーチ）就任がきっかけだ。平成27年九州リーグ秋季大会で1部リーグに昇格するや、平成28年九州リーグ春季大会でいきなり1部9位に入賞。そして平成29年九州リーグ春季大会1部6位、秋季大会では堂々3位入賞を果たした。快進撃の理由について、北川さんは「部員一人ひとりが

考えながらプレイした成果ではないか」と分析している。「強豪チームと比べ、私たちは体格もパワーも及ばないところがありますが、相手の意表をつく攻撃を仕組むなど、メンバーの強みを生かしたプレイで立ち向かっています。監督も、常に勝てる攻撃の方法や無駄のない動きを考えるようアドバイスしてください、練習もやみくもにするのではなく、みんなで課題を出し合い、集中して練習するようにしています」

部員同士が互いに高め合う雰囲気のなか、のびのびプレイでき、ますますバレーが好きになったという北川さん。「試合中、自分たちが強豪チームと互角に戦えているという実感があり、すごく成長を感じています。でも、もっともっと実力をつけていきますよ」。そう話す顔は頼もしさに輝いていた。

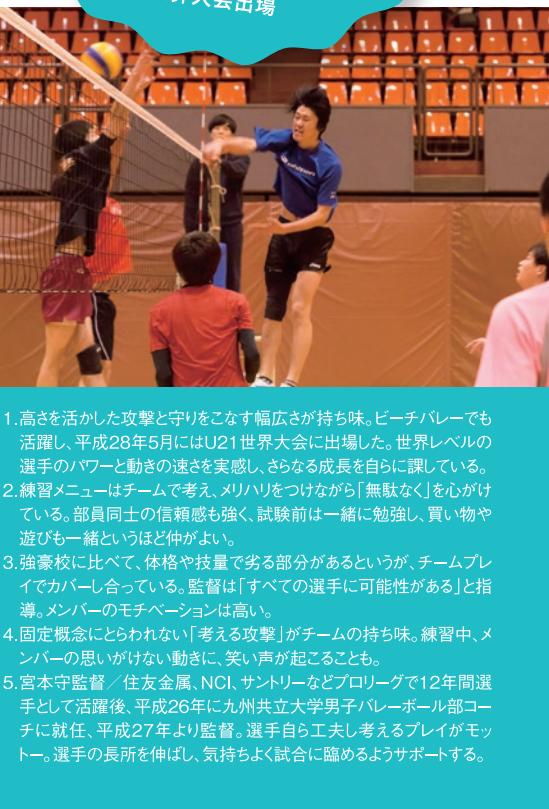
平成28年度  
北九州インター  
カレッジ優勝

平成29年度  
九州インター  
カレッジ3位(個人)

平成27年度 ビーチバレーU21  
日本代表選出、アジア大会出場  
平成28年度 同日本代表選出、  
世界大会出場

北川 綾哉さん

■成績 平成28年度九州大学  
バレーボールリーグ春季大会  
1部9位、北九州インカレ優勝  
平成29年度九州大学  
バレーボールリーグ春季大会  
1部6位、同リーグ秋季大会3位



1. 高さを活かした攻撃と守りをこなす幅広さが持ち味。ビーチバレーでも活躍し、平成28年5月にはU21世界大会に出場した。世界レベルの選手のパワーと動きの速さを実感し、さらなる成長を自らに課している。
2. 練習メニューはチームで考え、メリハリをつけながら「無駄なく心がけている。部員同士の信頼感も強く、試験前は一緒に勉強し、買い物や遊びも一緒というほど仲がよい。
3. 強豪校に比べて、体格や技量で劣る部分があるというが、チームプレーでカバーし合っている。監督は「すべての選手に可能性がある」と指導。メンバーのモチベーションは高い。
4. 固定概念にとらわれない「考える攻撃」がチームの持ち味。練習中、メンバーの思いがけない動きに、笑い声が起こることも。
5. 宮本守監督／住友金属、NCI、サンタリーナなどプロリーグで12年間選手として活躍後、平成26年に九州共立大学男子バレーボール部コーチに就任。平成27年より監督。選手自ら工夫し考えるプレイがキツネ。選手の長所を伸ばし、気持ちよく試合に臨めるようサポートする。

